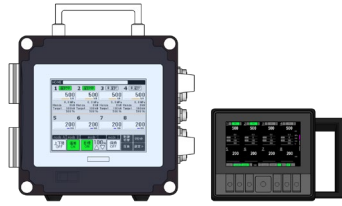


取扱説明書

2026 年 6 月 1 日 初版

デジカジプラス



大瀧ジャッキ株式会社

1. 使用上の注意

装置の性能を十分に利用いただくために、この取扱説明書を必ずお読みください。本装置は精密機器です。落下等による強い衝撃を加えないようご注意ください。配線や接続金具を破損・切断すると作業の継続が不可能となる可能性があります。

2. 仕様

計測・制御

- ・アナログ入力 センサ 8 台接続可能 4~20mA
- ・分解能 15bit
- ・接続センサ 電流出力 2 線式、電流出力 3 線式
- ・制御点数 制御ユニット 4 点
- ・遠隔操作 押し・圧抜・戻し

本体

- ・全長、全幅、全高 224、235、247mm
- ・保護構造 IP65 相当
- ・重量 約 4700g (操作スイッチを含まず)
- ・電源 AC100V

ディスプレイコントローラ

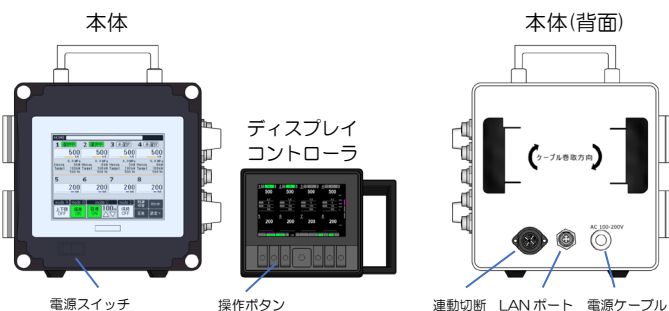
- ・全長、全幅、全高 166、67、117mm
- ・保護構造 IP65 相当
- ・重量 約 620g

3. 安全上の注意

注意事項は下記 3 種類に分類しております。

- △危険 取扱いを誤った場合、死亡又は重傷を負う事柄。
- △警告 取扱いを誤った場合、死亡又は重傷を負う可能性がある事柄。
- △注意 取扱いを誤った場合、身体に損傷を負う可能性又は物的損害が発生する可能性がある事柄。
- △危険 本装置の解体・改造はおやめください。誤作動を引き起こす原因となります。
- △警告 電源ケーブル差込部分が濡れていないことを確認してから電源を接続してください。感電による負傷の可能性があります。
- △警告 使用するセンサは用途に合ったものを接続してください。
- △注意 M12 ケーブルを脱着する際は、コネクタ部を持って行き確実に接続してください。緩みなどの原因で正しい計測値が表示されず、誤動作の可能性があります。
- △注意 本装置は必ず安定した場所に設置してください。落下による衝撃で装置が破損する可能性があります。

4. 各部名称



5. 使用前点検

△注意 使用前点検を怠った場合、装置の誤作動又は破損する恐れがあります。必ず使用前点検を行ってください。

点検箇所	点検内容
本体	☐ 本体の破損 ☐ 電源ケーブルの接続 ☐ 各ケーブル差込口の破損
センサ	☐ ケーブル等の破損 ☐ センサ本体の破損
設定項目	☐ 本体表示箇所と接続するセンサ箇所の整合性 ☐ センサ設定画面の設定値 ☐ 各種項目の設定値
ディスプレイコントローラ	☐ ケーブル等の破損 ☐ 選択状態の確認 ☐ ジャッキの動作確認

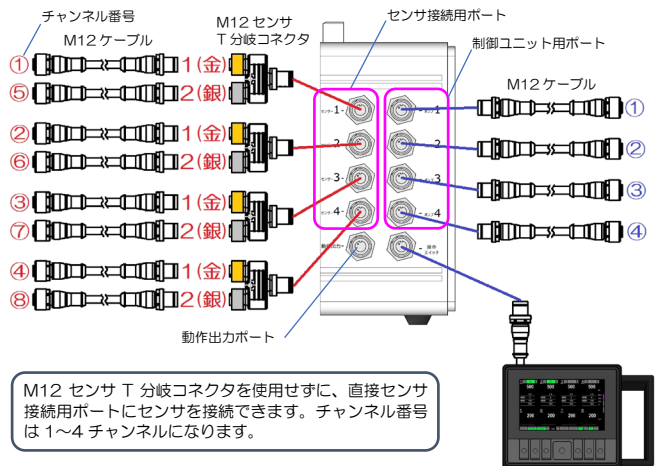
6. 接続方法

△注意 M12 ケーブルは正しく接続してください。無理に接続すると内部のピン折れや曲がり等で作業の継続が不可能となる可能性があります。

・接続

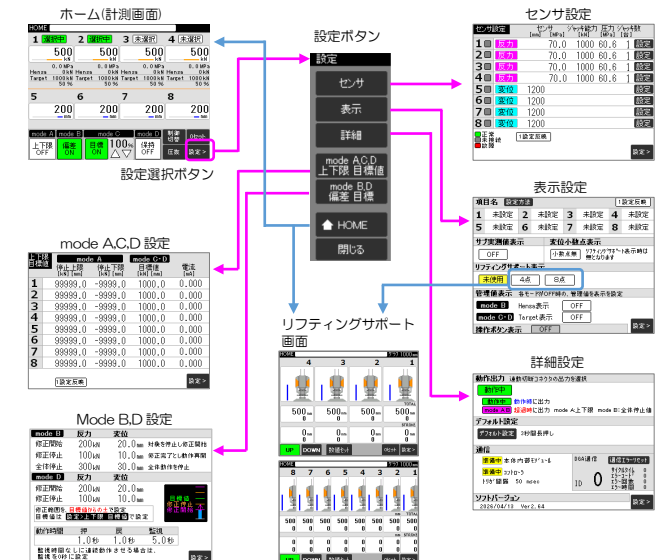
センサを、M12 ケーブル・M12 センサ T 分岐コネクタを介して、センサ接続用ポートに接続します。

制御ユニットは、M12 ケーブルを介して、制御ユニット用ポートに接続します。



7. 画面の移行

本体画面の「設定選択ボタン」を押すと、設定ボタンが表示されます。各画面で再度「設定移行ボタン」から、「HOME」を押すことでホーム画面に戻ることができます。

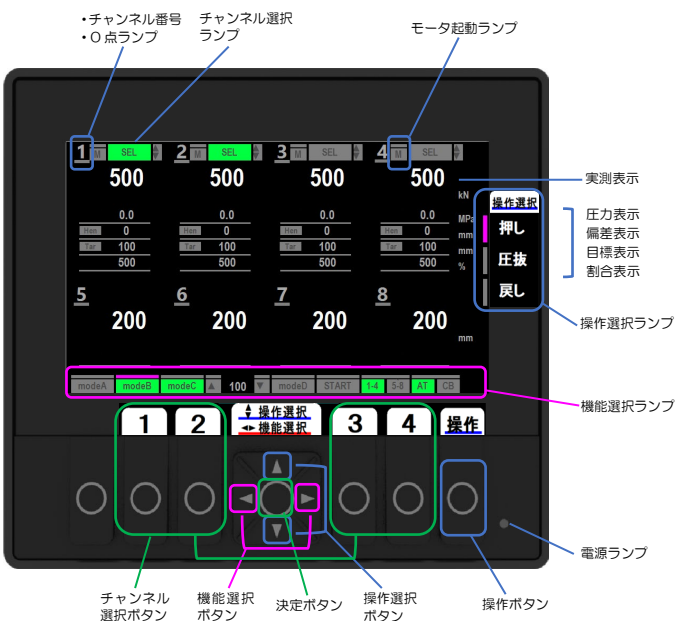


本体

チャンネル番号 チャンネル選択 メッセージ表示



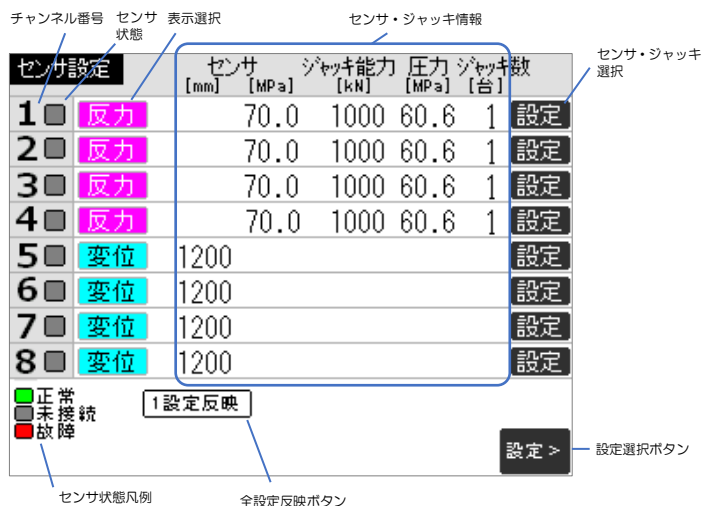
ディスプレイコントローラ



9. 設定方法：センサ設定

△ 警告 ご使用の前に必ず設定を行ってください。設定を誤った状態で使用するとセンサ値が正しく表示されない、またはジャッキの誤作動や破損する可能性があります。

- ・センサ設定



・各部名称詳細

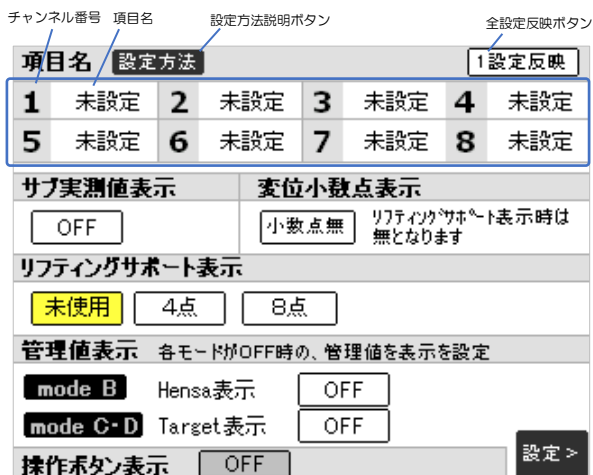
チャンネル番号	ホーム画面に表示されるセンサのチャンネル
センサ状態	センサの状態を「正常・未接続・故障」で表示
表示選択	使用するセンサ単位を切替えます。「未使用・反力・変位」で切替
センサ・ジャッキ 情報	使用するセンサの係数やジャッキの能力、台数を設定
センサ・ジャッキ 選択	使用するセンサ又は使用するジャッキを一覧から選択
全設定反映 ボタン	チャンネル番号 1 番の設定を以下のチャンネル全てにコピー

・センサ・ジャッキ選択



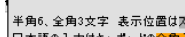
10. 設定方法：表示設定

- ・表示設定



・項目名

ホーム画面のチャンネル選択ランプ部に、任意の名称を表示することができます。

チャンネル番号	ホーム画面に表示されるセンサのチャンネル
項目名	任意の名称を設定
設定方法説明 ボタン	項目名設定の操作方法を表示 
全設定反映 ボタン	チャンネル番号 1 番の設定を以下のチャンネル全てにコピー

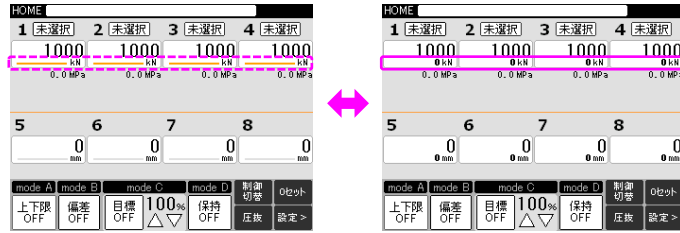


・サブ実測値表示

1つのチャンネルに2つの実測値を表示することができます。

サブ実測値は、値の表示のみで制御条件には含まれません。

ON/OFF	サブ実測値の表示/非表示の切替
--------	-----------------



※サブ実測値の0セットについては、15 項0セットの項目を参照

・小数点表示

センサ設定の表示選択にて^{変位}を設定しているチャンネルを、小数点第一位表示します。

※リフティングサポート表示にて^{4点}、^{8点}が選択されている場合は、小数点有は選択できません。(リフティングサポート表示は整数表示のみ可)

・リフティングサポート表示

ホーム画面をリフティンサポート専用画面に切替えます。

未使用	通常の計画画面を表示
4点	リフティング4点画面を表示
8点	リフティング8点画面を表示

※設定は、電源をOFFにしても保持されます。

※リフティングサポート表示詳細については、25 項参照

・管理値表示

制御モードがON時に表示される偏差値と目標値を、制御モードがOFF時にも表示します。

mode B	mode BがOFF時の偏差値の表示の有無を設定
mode C,D	mode C,DがOFF時の目標値の表示の有無を設定

※設定に関わらず、各モードがON時には、偏差値と目標値が表示されます。

11. 設定方法：詳細設定

・詳細設定

動作出力

動作中

動作中 動作時に出力

mode A,B 超過時に出力 mode A:上下限 mode B:全体停止値

デフォルト設定

デフォルト設定

3秒間長押し

通信

準備中 本体内部モジュール

DGA通信

通信エラーリセット

準備中 コントローラ

トリガ間隔 50 msec

ID 0

サイクル数 0

エラーコード 0

エラー回数 0

エラー時間 0

ソフトウェアバージョン

2026/04/13 Ver2.64

設定>

・各部名称詳細

動作出力	動作出力ポートの出力条件を選択 ※詳細は 23 項参照
デフォルト設定	各種設定を初期値に変更
通信	機材構成部品の通信状況 ・本体内部モジュール ・ディスプレイコントローラ
ソフトウェアバージョン	本体内部にインストールされているソフトのバージョン

操作方法

12. 作動確認

△警告 ご使用前に必ず無負荷での作動確認を行ってください。

△警告 油圧ジャッキを操作する際は、載荷物との間に手指・身体を挟まらないように注意してください。

△注意 M12ケーブルを脱着する際は、コネクタ部を持って行い確実に接続してください。緩みなどの原因で正しい計測値が表示されず、誤動作の可能性があります。

・接続センサの確認

1. 使用するセンサと本体を M12 ケーブルで接続する。
2. 接続したセンサを動かし、表示される数値が意図したセンサ表示位置と同じか確認する。
3. センサ値の 0 セットを行い、センサのレンジ及び設定が正しいか確認する。

・ジャッキ操作の確認

1. 動作させたい制御ユニットと本体を M12 ケーブルで接続する。
2. 動作させたい制御ユニットの切替レバーを中立状態にし、操作スイッチでジャッキを動作させ接続や設定が正しいか確認する。

13. 操作手順

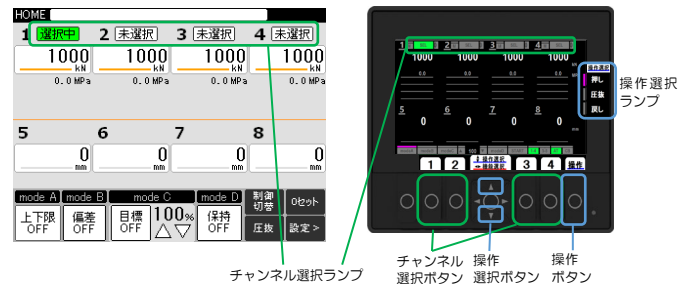
△危険 油圧ジャッキが加圧されている場合、急激な圧抜き操作はおやめください。載荷物のバランスが崩れ、荷が落下する可能性があります。

△警告 油圧ジャッキを操作する際は、載荷物との間に手指・身体を挟まらないように注意してください。

・操作手順

1. ディスプレイコントローラの^{チャンネル選択ボタン}で、チャンネルを選択します。

^{チャンネル選択ランプ}が、緑色に点灯します。



2. ^{操作選択ボタン}を押して^{操作選択ランプ}から行う動作を選択します。この時点ではジャッキは動きません。

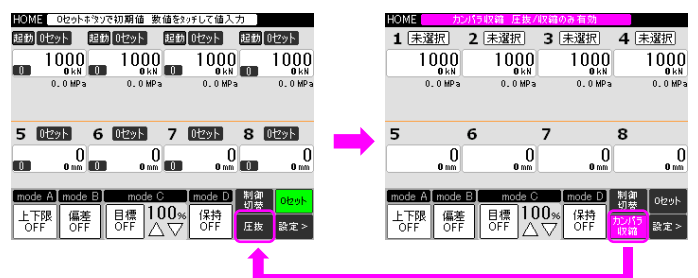
押し	ポンプユニットの押しポートから吐出します。
圧抜	ポンプユニットの押しポートから、作動油を抜きます。
戻し	ポンプユニットの戻しポートから吐出します。

3. ^{操作ボタン}を押すとジャッキが動作します。動作中のジャッキは、^{チャンネル選択ランプ}が^{動作中}の表示に変わります。

操作ボタンを連続で押すインチング操作は機材の故障の恐れがあるため、保護機能が設けられています。ボタンを離してから1秒間は、再度ボタンを押しても動作しません。

14. 降下切替

1.5kW電動ポンプユニット(カウンターバランス弁内蔵)を使用して^{戻し}操作時のみ、^{カンバラ収縮}に切り替えてください。



圧抜	制御ユニットの圧抜き機能を使用して、降下作業を行います。
カンバラ 収縮	カウンターバランス弁を使用して収縮を行います。 1.5kW 電動ポンプユニット(カウンターバランス弁内蔵)専用です。その他の電動ポンプには使用できません。1.5kW 電動ポンプユニットの切替レバーを裏側に倒してから使用してください。

圧抜き機能はでの降下はスロットルチェック弁の開度を調整してから行ってください。調整を行わず圧抜きを行うとジャッキが急速に縮む可能性があります。

15. Oセット

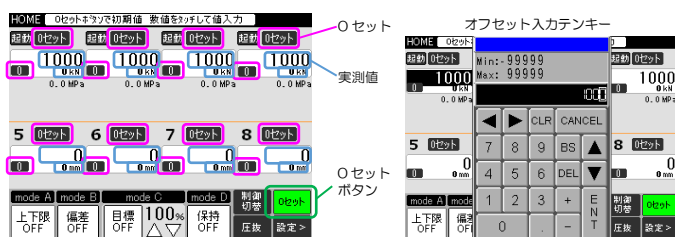
O セットは現在の実測値をO値(初期値)として表示します。センサの取得値が変化すると、OセットしたO値から加算・減算し実測値として表示します。
オフセット機能を使用することにより、任意の値を初期値として表示することができます。

・Oセット

Oセットボタンを押し、Oセット状態になるとチャンネル選択ランプが**Oセット**表示に変わります。ボタンを押すことで現在の実測値表示をOにすることができます。

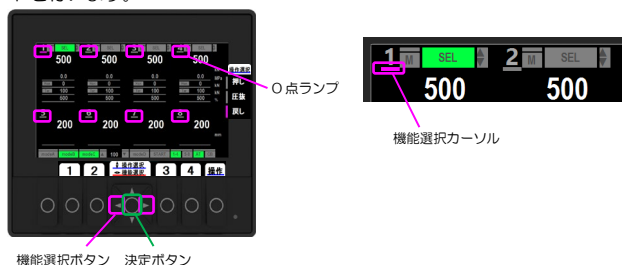
・実測値のオフセット

Oセット状態で**実測値**を押してテンキーで任意の数値を打ち込み、実測値の数値を変更することが出来ます。



・Oセット(ディスプレイコントローラ)

1. **機能選択ボタン**の左右を押すことで、機能選択カーソルが移動します。
2. 任意の**O点ランプ**位置にカーソルを合わせ、**決定ボタン**を押すことでOセットを行います。



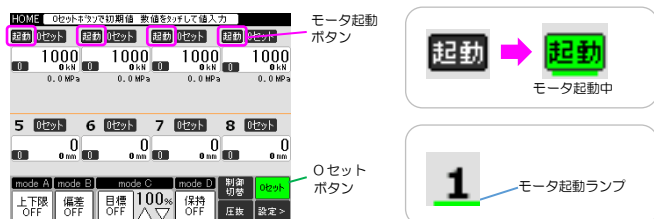
サブ実測値のOセットと、実測値のオフセットは、本体からのみ行うことができます。(ディスプレイコントローラから行うことはできません。)

16. モータ起動

制御ユニットのモータ起動をデジカジプラスから行うことができます。
※一部の制御ユニットがモータ起動に対応しています。モータ起動に対応した制御ユニットは後記を参照してください。

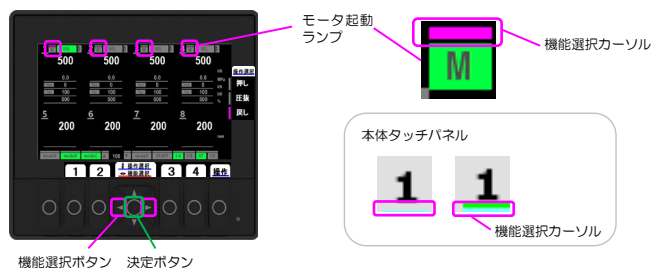
・本体

1. **Oセットボタン**を押して、Oセット表示にします。
2. **起動**(モータ起動ボタン)を押すことで、モータが起動します。
3. モータ起動中は、チャンネル番号の下にモータ起動ランプが点灯します。



・ディスプレイコントローラ

1. **機能選択ボタン**の左右を押すことで、機能選択カーソルが移動します。機能選択カーソルは、本体タッチパネルにも表示されます。
2. 任意の**モータ起動ランプ**位置にカーソルを合わせ、**決定ボタン**を押すことでモータが起動します。
3. モータ起動中は、モータ起動ランプが点灯します。



・制御ユニット モータ起動対応表

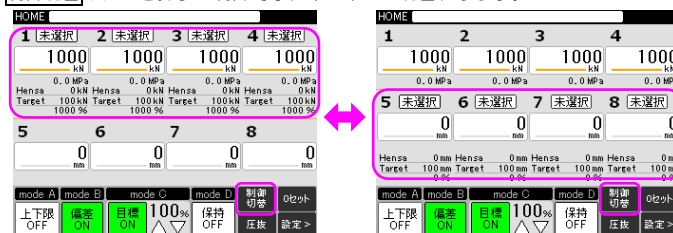
モジュールポンプ	未対応
1.5kW 電動油圧ポンプユニット	未対応
3.7kW2 連異荷重電動油圧ポンプ	未対応
Si0	未対応
Si1	未対応
Si3	対応

17. 制御切替

制御対象チャンネルを1~4チャンネル、又は5~8チャンネルかを切替えることができます。本体、ディスプレイコントローラどちらで切替を行っても、両方の表示が同様に切り替わります。

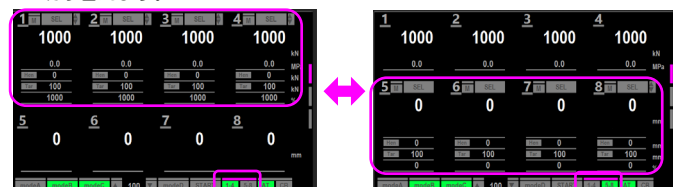
・本体

制御切替ボタンを押すと制御対象チャンネルが切替わります。



・ディスプレイコントローラ

機能選択ボタンの左右でカーソルを移動し、制御切替ランプ上で決定ボタンを押して切り替えます。



18. 各モードについて

デジカジプラスには4種類の制御モードがあり、センサ値のフィードバック制御を行うことができます。各モードは組み合わせで使用することができます。

・各モード

- mode A: 限界値停止制御
- mode B: 偏差修正制御
- mode C: 目標値停止制御
- mode D: 目標値保持制御

・モード比較

	mode A	mode B	mode C	mode D
目的	限界を超えないように	偏差を抑える	目標まで動かす	一定に保つ
設定項目	停止上限 停止下限	修正開始 修正停止 全体停止	目標値	
組合せ 条件	同時使用可能			—
動作停止 条件	上下限超過	全体停止値 超過	全点目標値 到達	—
	全点	制御切替対象		

19. 制御モード：modeA：限界値停止制御

modeA：限界値停止制御

上限又は下限を超えた場合全停止するモードです。

支点の選択に関わらず、いずれかの支点で限界値を超えた場合動作を停止します。(センサ設定画面で未使用箇所は対象になりません。)

・上下限値の設定

上下限 目標値設定画面にて、停止上限・停止下限値を設定します。センサ設定にて反力・変位どちらを選択していても、値は共通になります。

上下限 目標値	mode A				センサ電流値
	停止上限 [kN] [mm]	停止下限 [kN] [mm]	目標値 [kN] [mm]	電流 [mA]	
1	1200.0	800.0	100.0	0.000	
2	1200.0	800.0	100.0	0.000	
3	1200.0	800.0	100.0	0.000	
4	1200.0	800.0	100.0	0.000	
5	1200.0	-999.0	100.0	0.000	
6	1200.0	-999.0	100.0	0.000	
7	1200.0	-999.0	100.0	0.000	
8	1200.0	-999.0	100.0	0.000	

1 設定反映

1 設定反映ボタン

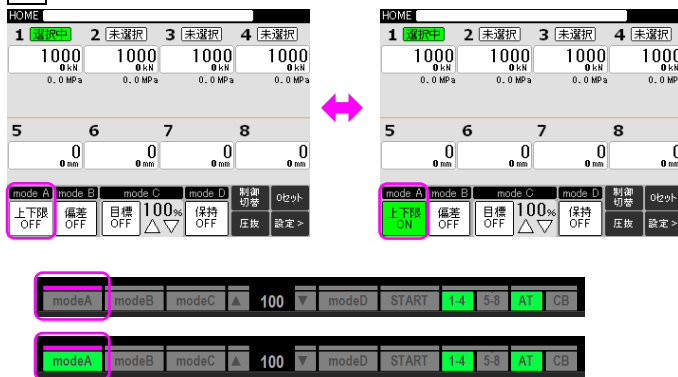
・各部名称詳細

チャンネル番号	ホーム画面に表示されるセンサのチャンネル
上限・下限値	この値を上回る、または下回ると動作が停止
目標値	mode C：目標値停止制御にて使用
センサ電流値	センサから出力される電流値を表示
1 設定反映	1チャンネルの設定を2～8チャンネルにコピー

・機能のON/OFF

上下限 ON/OFF ボタンを押すことで、機能の有効/無効を切り替えます。

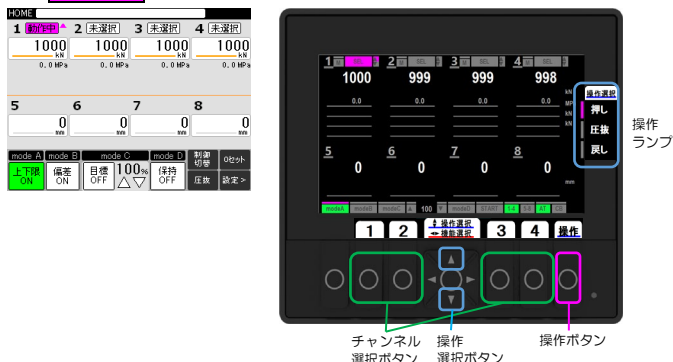
ディスプレイコントローラからは、機能選択ボタンで modeA を選択し、決定ボタンを押すことで、機能の有効/無効を切り替えます。



・ジャッキ操作

ジャッキ伸張：[押動作]

1. チャンネル選択ボタンでジャッキを選択します。
2. 操作選択ボタンを押して、操作ランプを押しにします。
3. 操作ボタンを押してジャッキ伸張動作を行います。

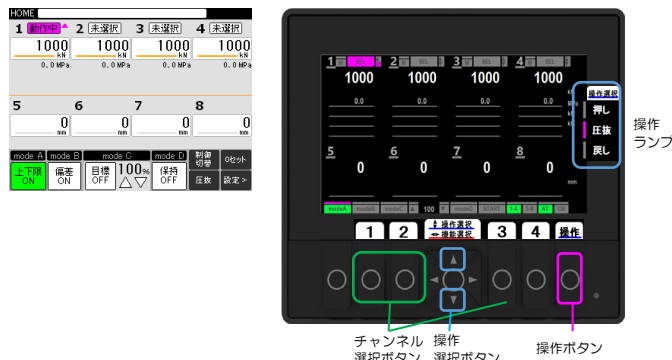


4. 1～8チャンネルの内、1チャンネルでも上限を上回った場合、全てのジャッキ動作が停止します。上限を上回ったチャンネルに、max ランプが点灯し、上下限 ON/OFF ボタンは、上下限 OVER 表示になります。



ジャッキ収縮：[戻動作]

1. チャンネル選択ボタンでジャッキを選択します。
2. 操作選択ボタンを押して、操作ランプを圧抜または、戻しにします。
3. 操作ボタンを押してジャッキ圧抜/戻動作を行います。



4. 1～8チャンネルの内、1チャンネルでも下限を下回った場合、全てのジャッキ動作が停止します。下限を下回ったチャンネルに、min ランプが点灯し、上下限 ON/OFF ボタンは、上下限 OVER 表示になります。



20. 制御モード：modeB：偏差修正制御

modeB 偏差修正制御

偏差が大きくなった箇所を停止し、偏差が小さくになったら再度動作するモードです。偏差が大きくなり過ぎた場合は、全体停止値で全体停止することができます。複数のジャッキ使用時に荷重、又はストロークに偏差を発生させたくない場合に使用します。

偏差とは、荷重又は変位の一番大きい値又は、小さい値と、その参照する値の差を示します。

・制御値の設定

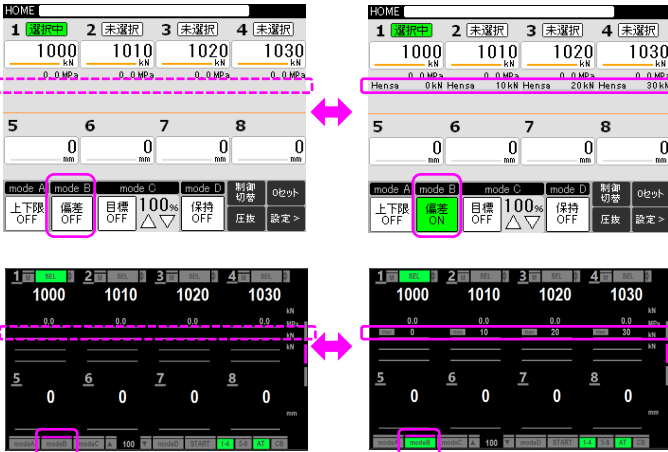
mode B	反力	変位
修正開始	200 kN	20.0 mm 対象を停止し修正開始
修正停止	100 kN	10.0 mm 修正完了とし動作再開
全体停止	300 kN	30.0 mm 全体動作を停止

- ・修正開始 この値を偏差が上回る又は下回った場合、動作が停止し偏差量が修正停止値になるまで待機する値です。
- ・修正停止 この値を偏差が上回る又は下回った場合、修正偏差にて待機していた動作が再開される値です。
- ・全体停止 この値を偏差が上回る又は下回った場合、全操作を強制停止する値です。

機能のON/OFF

偏差 ON/OFF ボタンを押すことで、機能の有効/無効を切り替えます。

有効にすることで、各チャンネルに偏差値(Hensa)が表示されます。

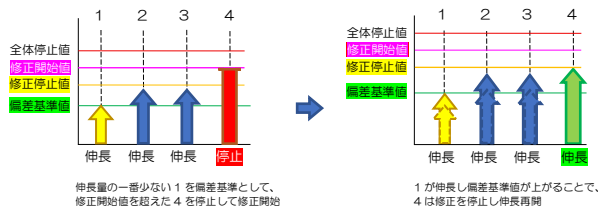


ジャッキ操作

ジャッキ伸張: [押動作]

1. チャンネル選択ボタンでジャッキを選択します。
2. 操作選択ボタンを押して、操作ランプを押しにします。
3. 操作ボタンを押してジャッキ伸張動作を行います。
4. 伸長時、変位または荷重の実測表示値で一番遅れているジャッキ(上図では1チャンネルジャッキ)を基準とした偏差基準値が設定され、各ジャッキの偏差を算出します。
5. 伸長動作中、偏差基準値から修正開始値を上回ったジャッキ(下図では、4チャンネルジャッキ)は伸長動作を停止し、遅れているジャッキが伸長することで修正停止値を下回るまで待機します。
6. 偏差が修正停止値を下回ると、伸長動作を再開します。

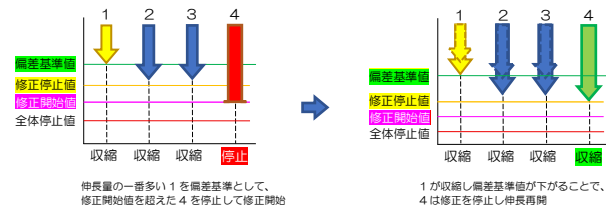
支点の選択に関わらず、いずれかの支点で偏差が全体停止値を超えた場合、全体の動作を停止します。(センサ設定画面で未使用箇所は対象になりません。)



ジャッキ収縮: [圧抜動作] [戻動作]

1. チャンネル選択ボタンでジャッキを選択します。
2. 操作選択ボタンを押して、操作ランプを圧抜または戻にします。
3. 操作ボタンを押してジャッキ収縮動作を行います。
4. 収縮時、変位または荷重の実測表示値で一番遅れているジャッキ(図では、1チャンネルジャッキ)を基準とした偏差基準値が設定され、各ジャッキの偏差を算出します。
5. 収縮動作中、偏差基準値から修正偏差値を下回ったジャッキ(下図では、4チャンネルジャッキ)は、収縮動作を停止し、遅れているジャッキが収縮することで修正停止値を上回るまで待機します。
6. 偏差が修正停止値を上回ると、収縮動作を再開します。

支点の選択に関わらず、いずれかの支点で偏差が全体停止値を超えた場合、全体の動作を停止します。(センサ設定画面で未使用箇所は対象になりません。)



21. 制御モード: modeC: 目標値停止制御

modeC 目標値停止制御

目標値に対して割合での動作を行うモードです。目標値に到達した箇所から順次停止します。

- ・計測値が設定した目標値を伸長時は上回る、収縮時は下回ると動作を停止します。

目標値の設定

modeA,C,D 設定画面にて、各チャンネルの目標値を設定します。

チャンネル番号	上限・下限値	目標値 [kN] [mm]	センサ電流値
1	1200.0 800.0	100.0	0.000
2	1200.0 800.0	100.0	0.000
3	1200.0 800.0	100.0	0.000
4	1200.0 800.0	100.0	0.000
5	1200.0 -999.0	100.0	0.000
6	1200.0 -999.0	100.0	0.000
7	1200.0 -999.0	100.0	0.000
8	1200.0 -999.0	100.0	0.000

1 設定反映ボタン

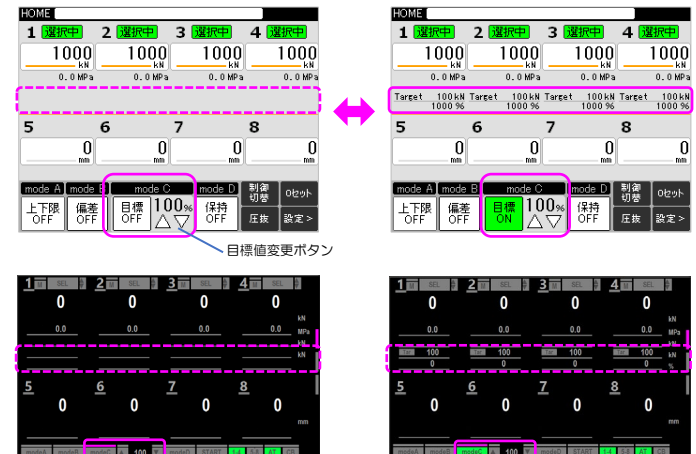
機能のON/OFF

上下限 ON/OFF ボタンを押すことで、機能の有効/無効を切り替えます。

有効にすることで、各チャンネルに目標値(Target)が表示されます。

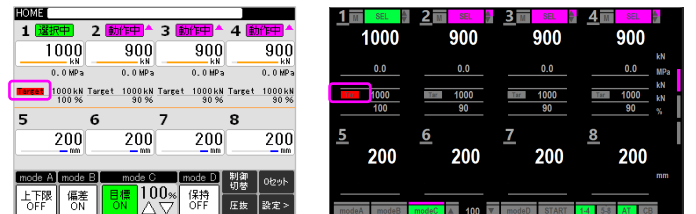
ホーム画面に表示される目標値は、modeA,C,D 設定画面にて設定した目標値に割合を掛けた値になります。通常は 100% に設定し、段階的にジャッキを伸縮させる場合等に割合を変更して使用してください。

ジャッキ操作

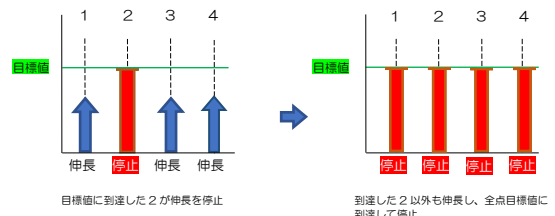


ジャッキ伸張: [押動作]

1. mode A,C,D 設定画面の目標値を設定します。
2. 設定された目標値が 100% の値になります。
3. ホーム画面、目標値変更ボタンにて目標値を変更、割合を設定します。
4. チャンネル選択ボタンでジャッキを選択します。
5. 操作ランプを押しにし、操作ボタンを押してジャッキ伸張動作を行います。
6. 目標値に達したジャッキは伸長動作を停止し、Target ランプが赤点灯します(他のジャッキは、伸張動作を継続します)。



7. 全ジャッキが目標値に到達すると伸長動作を停止します。

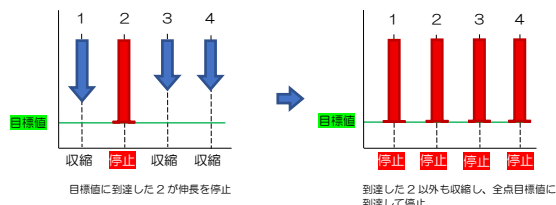


ジャッキ収縮：[戻動作]

1. mode A,C,D 設定画面の目標値を設定します。
2. 設定された目標値が 100%の値になります。
3. ホーム画面、[目標値変更ボタン]にて目標値を変更、割合を設定します。
4. [チャンネル選択ボタン]でジャッキを選択します。
5. 操作ランプを[戻]にし、[操作ボタン]を押してジャッキ戻動作を行います。
6. 目標値に達したジャッキは収縮動作を[停止]し [Target] ランプが赤点灯します (他のジャッキは、収縮動作継続します)。



7. 全ジャッキが目標値に到達すると収縮動作を停止します。



22. 制御モード：mode D：目標値保持制御

mode D 目標値保持制御

- 目標値からの保持範囲内に収まるように動作を行うモードです。
- モードを起動してから停止するまで保持動作を継続します。
- 保持動作は、監視時間と動作時間を繰り返してレインチング制御を行います。

mode D と、mode C,B を同時に使用することはできません。

・制御値の設定

mode D	反力	変位
修正開始	200kN	20.0mm
修正停止	100kN	10.0mm

修正範囲を、目標値からの±で設定
目標値は 設定>上下限 目標値で設定

動作時間	押	戻	監視
	1.0秒	1.0秒	5.0秒

監視時間なしに連続動作をさせる場合は、監視を0秒に設定

設定>

- 修正開始 この値を偏差が上回るまたは、下回った場合、ジャッキが動作し目標値に向け制御を開始します。
- 修正停止 修正開始後、この値に到達すると制御を停止します。

目標値は mode C と共通です。
mode A,C,D 設定画面にて、各チャンネルの目標値を設定してください。

- 監視時間なしに、連続動作をさせる場合は、監視を 0 秒に設定してください。
- 押、戻の設定時間が異なる場合は、両動作が終了後に監視時間に移行します。

動作時間について

- 修正範囲を超えた場合
- ①監視時間は未動作
- ②設定時の間、押・戻動作
- ①と②を繰り返します。



・機能の ON/OFF

[保持 ON/OFF] ボタンを押すことで、機能の有効/無効を切り替えます。

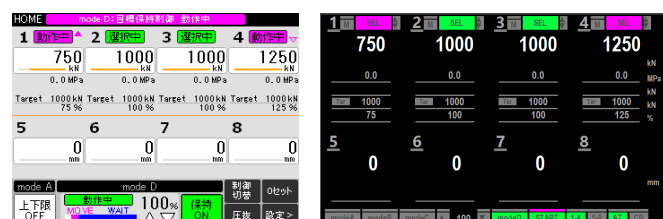
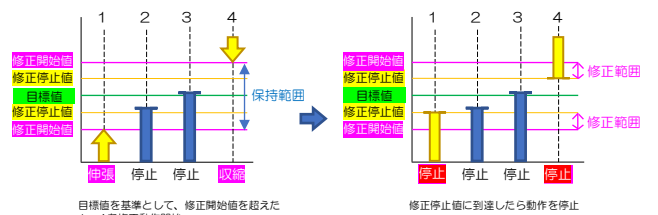
有効にすることで、各チャンネルに目標値 (Target) が表示されます。



・ジャッキ操作

1. mode A,C,D 設定画面の目標値を設定します。
2. 設定された目標値が 100%の値になります。
3. ホーム画面、[目標値変更ボタン]にて目標値を変更、割合を設定します。
4. [チャンネル選択ボタン]でジャッキを選択します。
5. [START] ボタンを押して、目標値保持制御を開始します。

6. 修正開始値を上回る、もしくは下回ると、ジャッキは伸縮動作をし、修正停止値を上回る、もしくは下回ると動作を[停止]します。



7. 再び [制御開始値] を上回る、もしくは下回ると、同様にジャッキを伸縮します。
8. [動作中 (START)] ボタンを押すと、目標値保持制御を停止します。

23. 動作出力

動作出力ポートに M12 ケーブルを接続することで信号出力を行うことができます。表示灯などを設置し、ジャッキが何らかの理由で停止していることを周知する時に使用します。

・動作出力の設定

詳細設定画面

動作出力 連動切断コネクタの出力を選択

動作中
動作中 動作時出力
mode A B 超過時出力 mode A: 上下限 mode B: 全体停止値

- 動作中 ジャッキ動作中にリレー出力を行います。

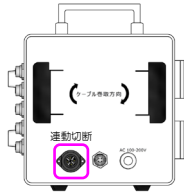
出力は M12 動作出力のポートより出力されます。表示灯などを設置しジャッキが動作していることを周知する時に使用します。

- mode AB 全体停止した場合、リレー出力を行います。

mode A	設定した上下限値を超えた場合
mode B	設定した全体停止値を超えた場合

24. 連動切断機能

連動切断コネクタ部へ専用ケーブルを接続することでリレー接点を用いた ON・OFF の制御が使用可能になります。



・切断出力

全体停止をした場合、連動切断の出力を行います。
下記の条件時に、内蔵リレーの接点が ON になります。

mode A	設定した上下限值を超えた場合
mode B	設定した全体停止値を超えた場合

・専用ケーブルへの接続

専用ケーブルは 4 芯からなり、2 組の接点を出力できます。
※出力の条件は 2 組とも同じです。

①	接点 1・2 番（赤・白）
②	接点 3・4 番（黒・緑）

25. リフティングサポート表示

ホーム画面をリフティンサポート専用の画面へ切り替えることができます。

・画面の切り替え方法

表示設定画面 リフティンサポート表示を **4 点** または、**8 点** を選択します。

リフティンサポート表示

未使用

4点

8点

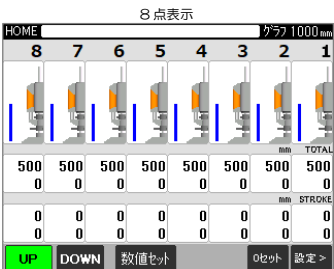
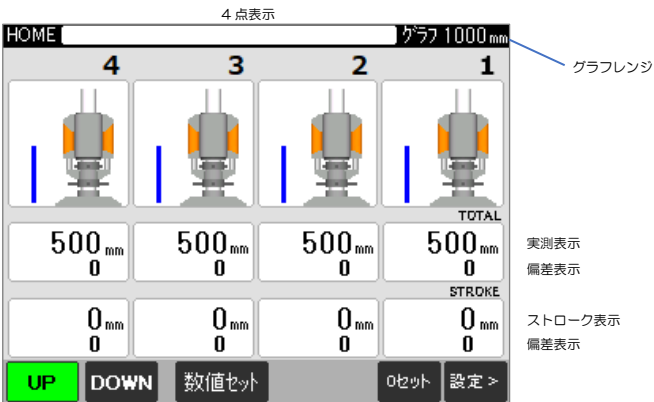
- ・表示設定画面にて、小数点有は選択できません。(リフティングサポート表示は整数表示のみ可)
- ・ジャッキの制御機能は使用できません。

・数値セット

- UP** または、**DOWN** を選択した状態で、**数値セット** を押すと STROKE 値を初期化します。
- ・UP 値を 0mm にします。
 - ・DOWN 値を 150mm にします。

・グラフレンジ

グラフィック左にある棒グラフのグラフレンジは、**グラフ** レンジにて設定します。

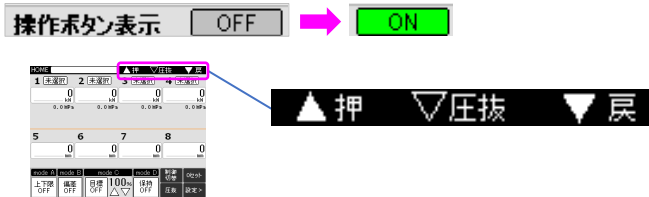


26. ディスプレイコントローラ故障時の対応

故障等でディスプレイコントローラが使用できない場合、本体のホーム画面に操作ボタンを表示することで、本体のみで操作することができます。

・機能の ON/OFF

表示設定画面の操作ボタン表示項目を ON にすることで、ホーム画面の上部に操作ボタンが表示されます。



27. 不具合の内容及びその原因と対策

症状	考えられる原因	処理
電源がつかない	☐ 発電機又は電源が供給されていない ☐ 電源が入っていない ☐ 電源ケーブルの断線	☐ 電源の供給を確認する ☐ 電源が入っているか確認する
センサの値が表示されない	☐ M12 ケーブルの接続不良 ☐ M12 ケーブルの断線 ☐ センサの破損 ☐ 設定ミス	☐ ケーブル差込口の確認 ☐ ケーブルの交換 ☐ センサの交換 ☐ 設定値の確認
ポンプが動かない	☐ M12 ケーブルの接続不良 ☐ M12 ケーブルの断線 ☐ 電源が入っていない ☐ 電源ケーブルの断線 ☐ ポンプの故障 ☐ バルブが閉じていない又は開いていない ☐ 電磁弁の故障	☐ ケーブル差込口の確認 ☐ ケーブルの交換 ☐ 電源の確認 ☐ ケーブルの確認 ☐ 機材を交換する ☐ ハルブ操作 ☐ 機材を交換する

28. お問い合わせ先・改訂履歴

ご不明な点は下記までお問い合わせ願います。

大瀧ジャッキ株式会社

本社

住所：東京都足立区北加平町 4-16

電話：03-3620-0171

大阪支店

住所：兵庫県伊丹市野間北 3-4-17

電話：072-783-1360

三郷機材センター

住所：埼玉県三郷市早稲田 8-13-9

電話：048-958-7272

改訂履歴

印刷年月日	版数	改訂内容
2026 年 6 月 1 日	初版	